

日刊建設通信新聞（2022年12月22日付 3面掲載）

【オリコンサルグローバル社員 海岸工学国際会議で竹杭基礎工を紹介】

海岸工学国際会議で 竹杭基礎工を紹介

オリコンサル
グローバル社員

豪州シドニー市のシドニー国際会議場で4日から9日にかけて開かれた第37回海岸工学国際会議（ICCE）に、オリエンタルコンサルタンツグローバル総合開発事業部港湾部課長のレ・フオン・ドン氏が登壇、インドネシアでの防波堤工事に採用された軟弱地盤改良工法の竹杭基礎工について発表した。写真。

ICCEは、1950年から続く海岸工学分野での最も権威のある国際会議の一つ。隔年開催で、波、流れ、漂砂、防波堤、波力発電、津波、高潮など、海岸工学に関する研究内容が広く扱われている。

レ氏は、防波堤の設計と新



技術(Breakwater Design and Innovation)セッションに参加し、「The Design and Construction of Breakwater on Bamboo Pile foundation at Patimban Port Development Project」と題して、インドネシア国ジャカルタ首都圏東部で同社が詳細設計から施工監理まで実施している、パティンバン港開発事業の防波堤に採用された軟弱地盤改良工法の竹杭基礎工の設計とその建設工事を紹介した。